

「Internet Media Awards」部門賞 日経ビジュアル調査報道が受賞

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：飯田展久）のビジュアルデータ調査報道「増殖するミャンマー特殊詐欺拠点 国境沿いの『監獄』、3つの特徴」が27日、一般社団法人インターネットメディア協会（JIMA）の2026年「Internet Media Awards」ビジュアル&オーディオコンテンツ部門賞を受賞しました。



受賞作は、ミャンマー国内にある詐欺拠点到焦点をあてたビジュアル調査報道。25年に日本人高校生が保護されたミャンマーとタイの国境沿いを衛星画像などで分析し、犯罪拠点が拡大していることを明らかにしました。SNSに投稿された映像をもとに詐欺拠点内にある見張り台やフェンスを特定し、労働者を逃さない「監獄」の構造であることを示しました。

記事では、衛星画像など視覚的な証拠を分析して事実を明らかにする「Visual Investigation」と呼ばれる手法を駆使しました。日経電子版の主力ビジュアルコンテンツである「日経ビジュアルデータ」として公開しています。

同賞は信頼性のある情報をわかりやすく伝え、イノベーションに挑むメディア事業者らに対して21年から表彰を開始。6回目となる今年は自薦・他薦の186作品の応募がありました。

■受賞対象

増殖するミャンマー特殊詐欺拠点 国境沿いの「監獄」、3つの特徴

<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/myanmar-scam-centers/>

■受賞紹介ページ

一般社団法人インターネットメディア協会（JIMA）

<https://jima.media/ima2026/>

■Visual Investigation とは

SNS 映像や衛星画像、公的書類などの視覚的な証拠を収集・分析し、事実を明らかにする調査手法。従来の取材、公開情報（オープンソース）、デジタル技術による分析を組み合わせ、断片的な情報からニュースを掘り下げていきます。立ち入りが困難な場所やネット空間も取材対象となります。

<https://www.nikkei.com/topics/25070301>

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は 1876 年以来、約 150 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約 1500 人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は 121 万部、2010 年 3 月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は 123 万です。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL: [\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)